

はじめに

各校では、子どもたちの多様化が進み、様々な困難や課題を抱える児童生徒が増える中、子どもたちの発達や教育的ニーズを踏まえつつ、一人一人の可能性を最大限伸ばしていく教育に御尽力いただいているところです。

このような状況の中、令和4年度生徒指導サポート実践校においては、「生徒指導体制の確立」、「『開かれた学級経営』の実現及び児童生徒の主体的な『絆づくり』の推進」、「個に寄り添う指導・支援の充実」を取組の柱として、県内の公立小・中・義務教育学校、高等学校において暴力行為、いじめ、不登校等生徒指導上の諸課題の未然防止や早期対応を図る実践を進めてまいりました。

各実践校においては、社会性をはぐくみ、児童生徒間の絆を強め、望ましい集団を育成することを目的とし、各教科や特別活動等の中で、体験活動の取組を創意工夫されております。

本事例集では、各指定校の特別活動の取組事例が紹介されております。

各学校におかれましても、社会奉仕活動や異年齢交流等を通じて、児童生徒自らが課題を発見、解決するといった主体的な活動を推進していただきたいと思っております。

本資料が各学校での取組の参考となり、特別活動のより一層の充実に役立つことを願っています。

令和5年10月

豊かな心と身体育成課